

シンポジウム 特別版

一緒に考えませんか 私たちの暮らしとエネルギー
～幸せ最大、エネルギー最小の社会とは～
2009年9月26日 東京ウィメンズプラザにて

2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減する日本の中期目標を、鳩山首相が国連気候変動首脳会議で表明し、国際社会に公約しました。エネルギー環境をめぐる動きが激しく変わって行く中で、低炭素社会に向けて私たちの暮らしとエネルギーはどう関わるのでしょうか。

パネリストに木元教子氏と枝廣淳子氏を迎え、コーディネーターは秋庭悦子理事長。当日の参加者は146名。事前アンケート結果を会場のスクリーンで紹介しながら進行。パネリストお二人は楽しくディスカッションし持論を展開されました。参加者は熱心に耳を傾け、全員参加型のシンポジウムを開催しました。 **あすかエネルギーフォーラム 石井明子**



パネリスト

木元教子氏



評論家・ジャーナリスト。TBSのアナウンサーを経てフリー。現在はエネルギー・環境、教育、女性、高齢化、農業問題など幅広い分野で放送番組等への出演、講演、執筆等を行う。

パネリスト

枝廣淳子氏



環境ジャーナリスト・翻訳家。東京大学大学院教育心理学専攻修士課程修了。2つの会社を経営。環境NGO運営、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」委員。環境を軸に活動を行なう。

コーディネーター

秋庭悦子氏



NPO法人あすかI社[®]フォーラム理事長。早稲田大学商学部卒業。(社)日本消費生活[®]バザー・[®]リサイクル協会常任理事。経済産業省総合資源[®]I社[®]調査会新I社[®]部会、原子力部会などの委員。

★私たちにできる？

秋庭氏のエコカーや家電を買いたいが高くて・・・という発言に対して、木元氏が「全部やれ！ではなくできるところからで良いのでは？」とおっしゃったので安心できた。木元氏は家で耐震と兼ねて窓ガラスに透明シートを貼り、ベランダでトマトとピーマンう植えているそう。それぞれが自分ができる範囲内でやればよい。そこに自分で納得する生き方が見えてくれば投資できるという話を聞きそれなら何とかやっていけるかも！と勇気をもらった。

★25%削減ってなに？

木元氏は、「25%とは大きな数字であり実現可能なか心配だが、鳩山首相が『主要な先進諸国が皆協力すればできないことができるようになる』と勇気を持って言った事に拍手を送りたい」とおっしゃった。また、朝2時に起きてアクティブに行動される枝廣氏もこの数字に対して、「途上国に必要な技術と資金を、先進国が出すという意味表明でもあるので、途上国側にも良い受け止め方をされている」と期待されていた。お二人のポジティブな意見に心を動かされた。

★低炭素社会づくりの目的って？

枝廣氏は温暖化をバックキャストिंगと言う手法で捉えていた。すなわち先進国は2050年までに80%減らすということを確認し、2050年に必要な削減をするには2020年に25~40%減らす必要があるという数字が出ている。その下限、25%を今回鳩山首相が掲げたと言われ、非常に説得力があった。この話を聞き、これから低炭素社会をどうやって築いていくか、その筋道を有るべき姿から考えなくては行けないと言う秋庭氏の意見に共感した！

★幸せにつながるCO2

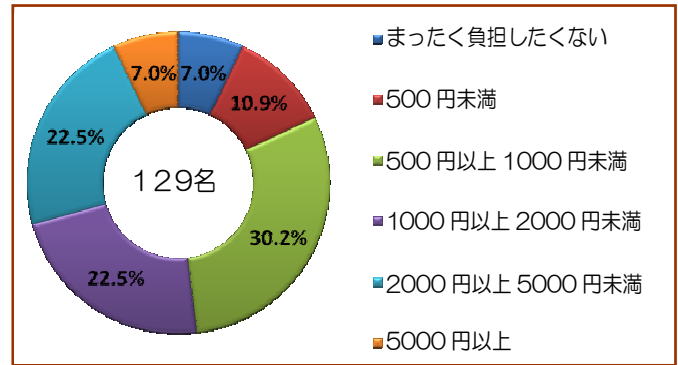
枝廣氏がCO2には幸せにつながっているCO2と、幸せにつながっていないCO2があり、区別することができるとおっしゃった。例えば一家団欒で楽しく見ているテレビの電力から出るCO2は幸せにつながっている、だから気にすることない。しかし、誰もいない部屋についているテレビは、幸せにはつながっていないから消せばいい。わかりやすく、すぐにやれることなので、幸せにつながっていないCO2をどんどん減らす方向で生きていきたいと思った。

シンポジウム参加者のアンケート結果

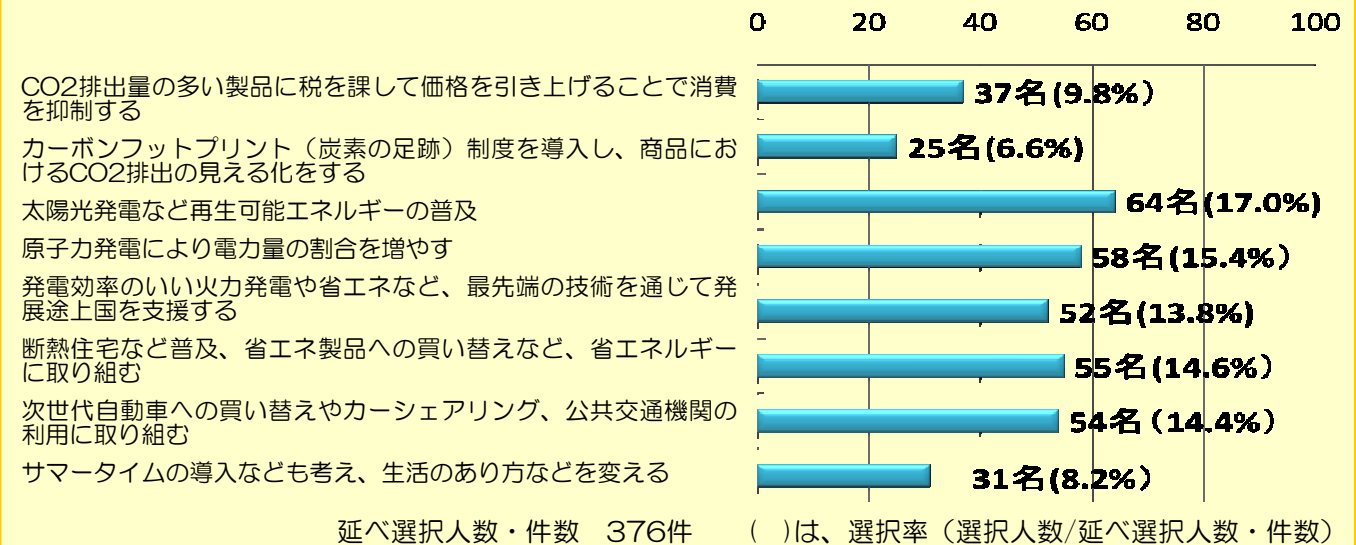
事前アンケート結果

質問：一ヶ月あたりの家計の負担はどの程度まで増えてもよいとお考えですか。

事前アンケートを寄せてくださったのは 132 名。20 歳代から 70 歳代まで幅広く、60 歳代が約 30%。中期目標の 15%減については、約 60%が「妥当な水準」と回答。削減に当てる 1 ヶ月あたりの家計の負担額は「500-1000 円未満」が一番多いものでした。温室効果ガス削減に向けた効果的な対策の順番は下図のようになりました。



質問：あなたは温室効果ガスの削減に向けた対策は何が一番有効であると思われますか。（3つ選択）



シンポジウム後に寄せられた感想

エネルギーを通して、日本と世界を考え、自分の生き方についても振りかえる機会になりました。



★外国の例が参考になった

☆ヨーロッパ各国のエネルギーシステムや、ベルギーやスウェーデンの電力の話など興味深かった。
 ☆スウェーデンのように10年後20年後どういう姿になりたいかを考えることが今必要だと思う。
 ☆サマータイムの導入は、夏冬の昼間の時間差の少ない日本では効果はあまりあがらないと思う。

★日本のエネルギーセキュリティが心配

☆エネルギーセキュリティは国際的。日本は何を目指すのか。各種発電の稼働率を考えること！
 ☆枝廣さんの科学的な広い視野、未来を見つめた考え方に感銘したが、エネルギーセキュリティに不安が残る。

★幸せにつながるCO2っていいな

☆「省エネ」は大切だけれど「幸せに暮らす」ということも重要だという話が印象に残った。
 ☆木元さんの家庭菜園を楽しみながらCO2を減らすというのはとても理解しやすい。
 ☆枝廣さんのいう「幸せな生活感ハカットせず、まず家庭の無駄なエネルギー消費をやめる」という考え方は大きなヒントだ。
 ☆幸せの価値観を見直すヒントをたくさんいただき、実現できるような気分になった。

★自然エネルギーをもっと知りたい

☆エネルギー源のうち、新エネの占める割合は1%程度。仮に太陽光を20倍にしても大きな効果は期待できず、コスト高のみの結果になるのでは？
 ☆自然エネルギーの品質をみんな考え直す時期。正しい情報・色々な方法を知り、考えることが大切だ。